

昆虫を愛そう！

日本で唯一の虫の楽園。

ムシムシランド

オープン

日本で唯一の虫の楽園「ムシムシランド」が7月11日（土）にオープンしました。カブトムシをモチーフとした大迫力の昆虫館、1,000匹のカブトムシが放たれているカブトムシドーム。これから最盛期を迎え、各イベント等も随時行われていますので、夏の思い出に訪れてみてはいかがでしょうか？

- 期間 7月11日（土）～8月23日（日）水曜日休館 ※8月12日（水）は特別営業
期間後は8月29日（土）～11月29日（日）は、土・日・祝日、昆虫館のみ営業
- 時間 午前9時30分～午後4時30分
- 料金 【昆虫館+カブトムシドーム】大人800円、子ども500円
【昆虫館のみ】大人500円、子ども300円
※子ども料金は、3歳以上高校生以下のお子様に適用（3歳未満は無料）
- その他 旧カブトムシドーム跡地に、昆虫採集が出来る「インセクトフィールド」がオープンしました。
※お持ち帰りできる昆虫は、お一人2匹まで。昆虫資源の保護のため採集のルールを守ってご利用ください。
開所日は7月18日～8月15日の土曜日と祝日の午前8時～9時。

📍ムシムシランド ☎77-4097

詳しくはこちら



夏のイベント情報

8/15 SAT ときわ盆フェスタ 2026

午後4時～9時（雨天時：8月16日（日））
常葉行政局駐車場

A K Dance（ダンス）・仁 & 井上千春歌謡ショー・瞬時（マジック）、打ち上げ花火・盆踊りなど

📍ときわ商工観光イベント実行委員会（常葉行政局 産業建設係）☎77-2371

8/8 SAT 都路灯まつり & 盆踊り大会 2026

午後0時30分～9時15分
市古道体育館前駐車場および周辺地域

ステージイベント、竹灯、手作りランタンコンテスト、ゲーム大会など

📍都路灯まつり & 盆踊り大会実行委員会事務局（都路行政局 産業建設係）☎75-3550

8/13 THU 第31回鬼の里納涼夏まつり

午後1時～8時（雨天時：8月14日（金））
おおごえふるさと館前駐車場

ダンスステージ、藤めぐみ歌謡ショー、「たむたむ」ものまねショー、大声大会、鬼五郎幡五郎太鼓、花火など

📍鬼の里納涼夏まつり実行委員会（大越行政局 産業建設係）☎79-2193

8/23 SUN 第75回灯籠流し（川ねぶた）と花火大会

午後3時～9時
大滝根河畔周辺

◆タイムスケジュール
午後4時～第2回大食い王決定戦
午後5時30分～流し踊り
午後6時50分～灯籠流し（川ねぶた）
午後8時～花火大会

◆船引駅前公園では船引町商工会主催「ふねひき夏まつり」も開催！

中型・小型灯籠参加者募集

灯籠流しと花火大会の開催にあたって、中型・小型灯籠出品者を募集します。自作の灯籠で参加を希望される方は下記までご持参ください。賞品が当たるかも！

◆8月23日（日）午後1時～3時 船引小学校裏駐車場
📍市観光協会船引支部（レストラン ドルフィン内）☎73-8830

市、市教育委員会は7月4、5の両日、双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館で、東日本大震災・原子力災害の影響を受けた都路地区の小学校における教育実践を紹介する「田村市被災地復興企画展」を開催しました。

本企画展は、市都路町の元古道小（現都路小）校長の根内喜代重さんが執筆した書籍「未来をつくる小学生 震災が問いかけた都路の学校と地域」＝写真＝を軸に、避難生活の中で学びの場をどう守り、地域とともに学校を立ち上げてきたかを振り返り、被災地における教育の意義を広く発信しました。

会場では、トークセッションのほか、震災と原発事故後の都路の様子分かる資料や新聞記事などを展示しました。

📍教育部 生涯学習課

☎81-1215



トークセッション

根内さんが司会を務め、当時の教え子や学校関係者らが登壇し、原発事故発生後の学校生活や地域との関わりなどを話しました。

根内さんは「避難生活を経て地域とともに学校づくりに向き合った。その実践は今に続いている」と紹介。当時の児童だった吉田実里さんは「活動を通して『まずは行動してみる』という気持ちが大切だと学んだ」と振り返りました。

関係者による意見交換を通して、教育実践が今につながる歩みであることをあらためて共有する機会となりました。



展示会

学校再開時の写真や新聞記事、当時の児童が考案したキュウリを使ったジャム「都路キュウリマン」の開発記録やPR資料を紹介し、子どもたちの学びが地域の力となっていた過程を伝えました。



市被災地復興企画展

（帰還した小学校が目指した教育とは）



企画展の動画
はこちら